

令和3年度 浦安市総合計画の推進に関する懇話会

実施結果について

1. 浦安市総合計画の推進に関する懇話会の概要

(1) 開催の目的

本市では、令和2年度からスタートした総合計画に基づきさまざまな事業を展開する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、市税の減収が見込まれることや感染症対策などを市の最優先課題として取り組む必要があったことから、実施計画事業の一部事業の執行を一旦停止するなどの措置を講じてきた。

そこで、このような緊急事態下における総合計画に基づく行政運営のあり方や総合計画の進捗状況及び今後本市において求められる施策などについて、有識者の方々から意見をいただく懇話会を開催することとした。

(2) 有識者

- ・全国市町村振興協会 理事長 坂本森男氏
- ・明海大学 不動産学部 教授 浜島裕美氏
- ・明海大学 経済学部 教授 寺村絵里子氏
- ・千葉大学 名誉教授 天笠 茂氏
- ・千葉大学 国際教養学部 准教授 鈴木雅之氏
- ・和洋女子大学 家政学部 准教授 高木憲司氏

(3) 内容

第1次実施計画及びうらやすポリシーミックスの進捗状況について

(4) 開催場所

オンライン開催

(5) 開催日時

令和4年2月4日（金）16：30～17：45

2. 主な意見等

危機管理体制

- ・感染症がここまで拡大するなかでは、計画の執行に固執することがリスクとなる。行政としての目的はしっかりと意識したうえで、積極的な意味での先送りも考える必要があると思う。
- ・コロナを契機とした社会の変化が3年間に及んでいることで、コロナが収まっても元の状態に戻らない不可逆的な変化が生じており、特にデジタル関係でこうした変化が顕著となっている。リモートワークがかなり普及し、仕事、組織、家庭との関係といった面においても変化が生じている。
- ・デジタル面での社会変化への対応という点で市には積極的に市民へのサポートをしていただきたいと思う。また、市民へのサポートを可能とするために、市職員のデジタル対応能力向上に努めていただきたいと思う。大学生の力を借りて、市民へのサポートに協力してもらうのも有効ではないか。
- ・行政による危機管理については、空振りには許されるが見逃しは許されない。対応は過剰なくらいがいい、というコンセンサスを市民のなかにつくりあげていくことが必要だと思う。そのためには、訓練や講習を充実させていくことも必要であると考えられる。

公共施設管理・高齢化対策

- ・市の財政が厳しいという局面では、施設の建替えなどの新しい措置は一旦止めざるを得ないと思う。耐震構造に問題があるということであれば、最低限の対応に留め、それ以外のことは一旦ストップすべきであると考えられる。市民の理解も得られるのではないかと思う。
- ・人口構成については、全国的に高齢者や独身者において単身世帯が増えており、浦安市も同様の傾向だと思われる。この単身世帯の増加を意識したまちづくりの施策が必要であると考えられる。特にコロナ禍ではこうした単身者の孤立が大きな問題となっており、こうした方々に行政が手を差し伸べる仕組みづくりを期待している。
- ・また市政に関する情報の入手方法は年齢層によって傾向が異なる。50代以上は市の広報紙、40代以下はインターネット、20代はSNSが主要な情報入手経路となっている。市民への周知にあたってはこうした特性を踏まえて手段を考えていくことが必要だと思う。
- ・テレワークが思った以上に定着しつつあり、コロナ後もこうした動きは残ると考えている。テレワークで実現する職住近接という点では、浦安市は都心に近い位置にありながら比較的ゆとりのある土地であり魅力的な自治体だと思う。こうした強みをうまく訴えていけば、様々な年代の人を呼び込み、年齢層の偏りを緩和できるのではないかと思う。

自然災害対応・住宅ストック

- ・トンガの海底火山噴火でみられたように、通信が途絶えると助けたくても助けられない状況となる。災害対策という面でもまずは通信環境を守ることが重要である。
- ・また、予測しえない自然災害への初動ではどうしても自分たちで対応しなければならない部分がある。そうしたとき、地域コミュニティ、特に浦安市ではマンションが多いのでマンション内のコミュニティの強化が重要である。マンション内のコミュニティに関しては、イベントが多いマンションほど、コミュニティのまとまりが強い傾向がみられる。イベントの開催を意図的に多く仕掛けていくことも災害対策につながると思う。
- ・集合分譲住宅の建替えは難しい課題で全国的に進んでいない。建替え補助に積極的なのが東京都で、千葉県はそれほど予算を割いていない。財政負担を考慮すると、市の補助金というよりは国、県の補助金を活用して対策をとっていくしかないと思う。自然災害と同様に、この建替え問題でもコミュニティがしっかりしていると対応がスムーズになる場合が多いといえる。まずは地域コミュニティをしっかりさせることが重要だと思う。

教育・青少年育成

- ・コロナ禍にあつて、教育現場ではこれを機に一気にデジタル化を進めるべきだという意見の人と、従来の教育ノウハウの継承を重視しながら緩やかにデジタル化を進めていこうとする意見に分かれている。前者はデジタル化に対応できる比較的若い世代の先生に多く、後者はベテランの先生に多いが、両者の融合を図りながらデジタル化を進めていくべきだと考えている。そのなかで、タブレット活用の技術的な面は短期集中的に先生方の習熟を図れるような施策をセンターなどに取り組んでいただきたいと思う。そのうえで、若手、ベテランがそれぞれの得意とするところ、不得手とするところを補いながら進めていくことが必要だと思う。
- ・また、教育現場でタブレットをどのように活用していけばよいかわからない先生については、それぞれの学校の職場のなかで学ぶ環境というのが大切だと思う。その職場での学びをサポートするセンター、教育委員会がリーダーシップを発揮して、学ぶ環境の整備をしていくことも大切だと思う。
- ・デジタル化にともなう費用負担では、これまでは国がかなりの部分を援助してくれたが、今後は同じような支援は期待できないということも考えられる。自治体ごとに財政負担を考慮しながら、デジタル化推進を検討しなければならないのではないかと考えている。
- ・コロナの影響から子どもたちの心を守るうえで学校行事が大切だと考えている。学校行事を通じた子ども同士のつながり、地域とのつながりを深めて

いくことが大事である。ただし、コロナ禍で学校行事が中止や延期に追い込まれることが多く、こうしたなかでポイントとなるのは学校ごとの判断、対応だと思う。ともすると周りの学校と比較しながら同じような対応をすることに終始しがちだが、それぞれの学校が地域の合意を得たうえで独自の小回りのきいた対応をとっていくべきではないか。

- ・また、浦安市はコミュニティスクールになっていないことが課題だと思っているので、ぜひ、コミュニティスクールの導入を検討していただきたいと思う。

産業・事業者支援

- ・コロナで観光業がどれくらい大きなダメージを受けたかということ把握するためには、コロナによって各産業がどの程度のダメージを受けているかを数量的に把握することが前提となるので、具体的な話はできないが、市内にサービス・宿泊・飲食以外に特化係数の高い産業が見当たらないなかでは、産業構造の多様化というより、強靱化に取り組む必要があると思う。
- ・真剣に経営に取り組んでいるところはコロナ後も見据えて前向きな取り組みを始めている。こうした事業者に支援を集中すべきであり、一律の支援策は再考する段階ではないかと思っている。旧市街の活性化は以前からの課題であるが、新しい人が入ってきて新陳代謝がないとなかなか変化やイノベーションは起きないと思う。おしゃれな人が新しく入ってくれば、まち全体が集客施設になっていくような観光サービス化が実現できるのではないかと思う。
- ・地方との連携に目を向けてもいいのではないかと思う。都心に近い立地を生かして、地方の特産品を市内で扱ってみるなど、アイデア次第でまち全体を活性化させることも可能だと思う。そうしたアイデアを持っている人を支援していくべきだと考えている。
- ・市川、松戸、柏と同様に浦安は生産のまちというよりも消費者のまちであり、何か事業をやろうとするとハードルがあるように感じる。

福祉

- ・重度障がいや行動障がい者の受け入れが民間の福祉サービス事業者の間で進んでいない状況は全国的にみられる。浦安市は運営費の補助など経済的誘導を他の自治体よりも積極的に行っているが、それでも民間の受け入れは広がっていない。法的に介護福祉士の介護に医療的ケアが含まれてから既に10年近く経っているが、介護福祉士が医療的ケアを怖がってやらないという状況がある。
- ・介護職員が医療的ケアを行えているところも中にはあるが、こうしたところではキーマンとなる人が介護職員の意識を変えるように努めている。経済的

誘導だけでなく、こうしたキーマンを育てていくことが必要だと考えている。

- 入居拒否の問題については、精神障がい者による様々な事件報道などを受けて、大家は障がい者や高齢者への賃貸に抵抗感を抱いている。居住支援協議会や支援法人を整備し、大家を支援することがひとつの解決方法になると考えている。
- 障がいのある子どもの面倒をみていた親が後期高齢者となり、親子双方が要支援者となる「8050 問題」が顕在化しているが、こうした人たちが孤立しないように浦安市の相談支援センターでは対象者の調査を進めているところである。